



《こども版》 としょかんだより No. 326

2011年

# わくわく本だな

# 10月号

富山市立図書館

## 今月のおすすめ



★ = 1・2年

★★ = 3・4年

★★★ = 5・6年

—あたらしくはいった本の中から、おすすめの本をしょうかいします—

### 「たいせつなてがみ」 (えほん)

マックス・ベルジュイス／作 セーラー出版



ワニくんは、王さまライオンからのてがみを、アメリカのだいとうりょうにとどけることになりました。ところが、だいじんは「ゆうびんのほうが早い」といって、てがみをポストにほうりこんでしまいます。しんぱいになったワニくんは、てがみをおいかけました。

### 「ばいきんあたらー」 ★ 村上 しいこ／作 PHP研究所

ばいきん<sup>ながや</sup>長屋にすむあたらーは、お父さんのばいきんおにとはじめでのしごとにいきます。はみがきしない子の口の中に入って、チクチクするのです。さっそく、小さくなって、女の子の口めがけてとびこみました！でも、まちがってはなのあなに入ってしまった。



### 「秘密のゴンズイクラブ」 ★★★ 広瀬 寿子／作 国土社



とおる<sup>と</sup>透は、“キツネ”“小ブネ”と名のる少年と知り合い、3人で秘密の「ゴンズイクラブ」を作りました。クラブの使命は、町の開発工事をやめさせ、むかしの<sup>とのさま</sup>殿様のお墓<sup>はか</sup>を守ること。3人は、こっそり夜に集まって、お墓の近くでにせの火の玉を飛ばすことにします。

# あたらしくはいった本

## えほん

### 「あたまをなくしたおとこ」

クレール・H. ビショップ／作 瑞雲舎



男がおきたら、あたまがなかった。いえじゅうさがしたが、見つからない。きのうは、どこへ行ったんだっけ？ そうだ、まつりに行ったんだ。そこで男はもう一ど、まつりでさがすことにした。あたまのかわりに、カボチャをのせて。

## ものがたり

### 「カンガルーには、なぜふくろがあるのか アボリジナルのものがたり」



ジェームズ・ヴァンス・マーシャル／再話 岩波書店



お母さんカンガルーは、おなかをすかせたウォンバットのおじいさんにたっぷり草をたべさせ、狩人から<sup>かりうど</sup>もまもってあげました。そのおれいに、子どもを入れるふくろをもらいます。オーストラリアのアボリジナル族に、語りつたえられてきた物語が10話入っています。

### 「カメレオンのレオン」 ★★ 岡田 淳／作 偕成社



桜若葉<sup>さくらわかば</sup>小学校では、最近へんなことが次々に起こります。トイレに行くと後ろから足音が聞こえたり、校長先生が二人いたり。ふしぎな事件<sup>じげん</sup>はエスカレートしていき、町全体に広がりました。そんなある日、レオンというカメレオンの探偵<sup>たんてい</sup>があらわれます。

### 「ルルとブロントサウルス」 ★★

ジュディス・ヴィオースト／作 小学館



ルルは、誕生日のプレゼントに、ペットとして恐竜<sup>きょうりゅう</sup>がほしいとさわぎました。「恐竜なんてとんでもない。」とパパとママに反対されますが、一人で森へ出かけて行って、ブロントサウルスを見つけます。ところがこの恐竜、ルルのことを「ペットにしたい！」と言うのです。

## ものがたり

「 小道の神さま 」 ★★★ 竹内 もと代／作 アリス館



ある日、そよかは、前から気になっていた小道に入ってみました。「道祖神<sup>どうそじん</sup>」という道の神様にお花をそなえて奥まで行くと、見たことのない古めかしい商店街<sup>がいの</sup>があらわれました。そよかは、小さいころなくなったはずの父さんそっくりな人を見かけます。

「 めざせ日本一！ 熱投<sup>ねつとう</sup>！ 北海アニマルズ v s 熱々<sup>あつあつ</sup>！ 大阪オイデヤス 」  
★★★ 二宮 由紀子／作 文溪堂

プロ野球日本一を決める決勝戦、と言っても選手は人間ではありません。大阪オイデヤスは、串カツやきつねうどんなど、大阪名物の球団。いっぽう、北海アニマルズは、ヒグマなどの動物球団です。大型かんばんエースのカニと豪腕<sup>ごうわん</sup>ゴリラの投げ合いが始まりました。



## ちしきの本

「 象のわたる川 」 横塚 眞己人／作 岩崎書店



ボルネオ島には、キナバタンガンという川があります。朝早く、人びとが水あびをしにやってきました。夕方には、象のむれが川をゆったりと泳いでわたり、くだものをさがします。ゆうゆうと流れる大きな川のそばでくらす生きものの様子が、はくりよくある写真から伝わってきます。

「 赤い卵<sup>たまご</sup>のひみつ 」 樋口 広芳／作 小峰書店

ホトトギスは、ウグイスの巣<sup>す</sup>にこっそり卵をうみ、自分のかわりにひなを育ててもらい習性<sup>しゅうせい</sup>があります。ところが、30年前、ホトトギスがいないはずの北海道で、ウグイスの巣から、他の鳥の赤い卵が発見されたのです。鳥の研究をしている作者と野鳥の会の人たちは、卵からどんな鳥が生まれるか観察することにしました。



# こんげつのとくしゅう

## 秋のたべもの



秋は、たべものおいしい季節きせつですね。  
おもわず、おなかかなりそうな本をしようかします。

「きんいろのとき」 (えほん) アルビン・トレッセルト／作 ほるぷ出版

こむぎやりんご、かぼちゃなどがとれるきんいろのきせつ、それは秋。

「まじよのおいもパーティー」 ★ なとり ちづ／作 童心社

子どもたちがそだてたさつまいもを、まじよたちがうばいに来ました。

「フランシスカとくまのアントン」 ★★ ヴィルヘルム・トプシュ／作 徳間書店

フランシスカの楽しみは、くまのアントンとジャガイモをやいて食べることに。

「きのこの絵本」 (ちしきのほん) こいで ひろし／編 農文協

きのこを育てて、おいしい天ぷらやなべ、たきこみごはんにして食べよう。

## シリーズしょうかい



「パンダのポンポン」シリーズ (ものがたり) ★★

野中 柊／作 理論社

パンダのポンポンはくきら星亭ほしていの Cock さん。  
料理が上手で、おまけに食いしんぼうです。今日は、  
何を作ってくれるかな？

「①パンダの  
ポンポン」

「世界で一番おいしいもの」という注文に、  
ポンポンが作ったのは、  
空とぶオムライス！

「⑤クッキー・  
オーケストラ」

ポンポンが作ったクッキーを食べると、みんな、  
楽器がっきに合わせておどり始めるのです。

「⑥パカパカパン  
ふっくらパン」

今日は、運動会。ポンポンはパン食きょうそうい競争にでましたが、パンが一つもありません。

「②青空バーベキュー」 「③クリスマスあったかスープ」

「④アイスクリーム・タワー」

< 編集・発行 >

富山市立図書館 富山市丸の内1丁目4-50 電話 076-432-7273